

# 水都之交 - 資源を紡ぎ環境に帰る -

私たち人間は他者である環境とともに生きていくだろうか。  
 埋め立てなど環境そのものを支配する生き方、必要以上に崇め環境に手をつけず生き方はかえって破壊を招き  
 深刻な環境問題を引き起こす。そのどちらでもない環境との生き方を今一度、新考すべきである。  
 既存の環境資源を活用する暮らしの提案により、環境を資源へと転換し、環境に帰る本来の風景を掲げる。



## 1. 社会背景 | 環境とともに生きる暮らしのあり方

### 1-1. 他者の定義 | 「環境」

環境をコントロールする生き方  
 環境への影響  
 環境を排除する生き方

### 1-2. 背景 | 2極化する人間と環境の関係性

環境をコントロールする生き方  
 環境への影響  
 環境を排除する生き方

### 1-3. 問題 | 環境汚染が及ぼす人間への影響

水路 湖 川 海

### 1-4. 概念 | 環境を受け入れる生き方

水域 住

## 4.STEP1 | 水域浄化による水の資源化

### 4-1. 水域の水質改善の必要性

現状 | 人々を寄せ付けない水質  
 提案 | 水域の水質浄化

### 4-2. 建築提案 | 地域資源の利活用による水質浄化システムの構築

Site 内湖エリア 住宅エリア

## 2. 地域背景 | 豊かな水域環境を備える滋賀県琵琶湖界隈

### 2-1. 琵琶湖に接続する水域環境「内湖」

内湖総数 37個 → 23個  
 総面積 2902ha → 425ha

### 2-2. 問題 -1 | 水域をコントロールする暮らしの変遷

1942 戦後の食糧不足解消のための干拓  
 1960 人口増加、都市化に伴う宅地化の促進  
 1970 モータリゼーションの普及

### 2-3. 陸域と水域の空間的分離

環境を排除する生き方  
 環境を受け入れる生き方

## 3. 提案 | 水域を受け入れる暮らし

### 3-1. オカズトリの分析

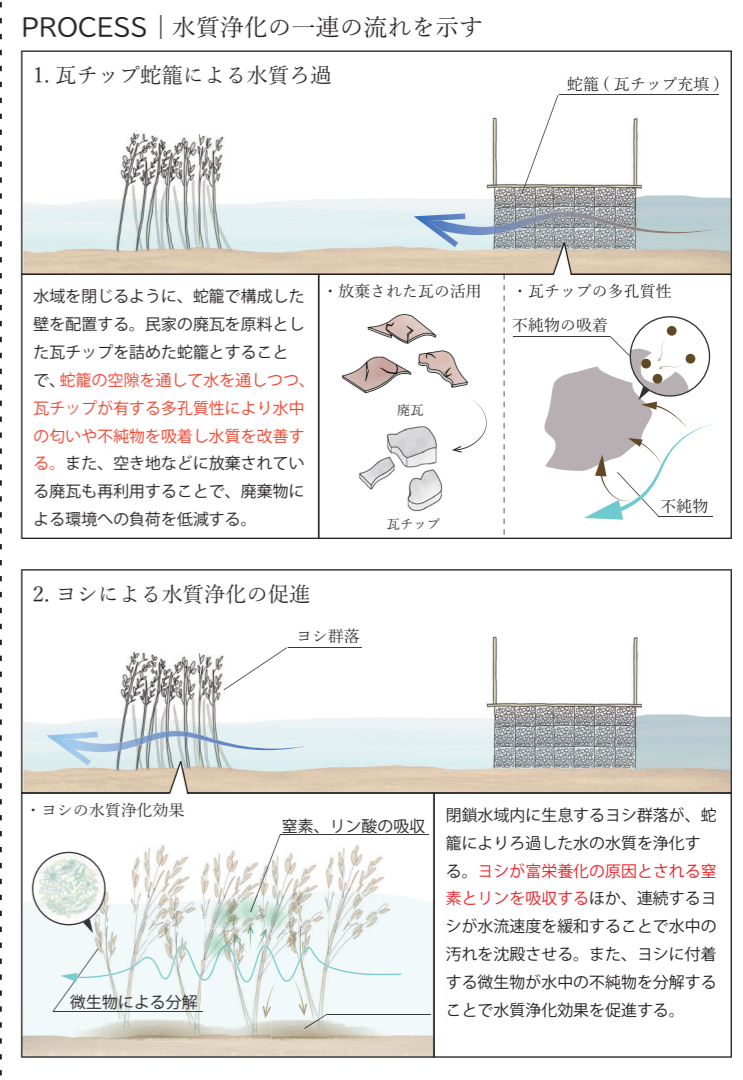
農家 魚 調理 採る  
 住民 加工・活用 採る

### 3-2. 提案 | オカズトリの新考

水耕栽培 草葎 グリーンカーテン

### 3-3. 提案 | 伊庭町を対象としたケーススタディ

選定数地 伊庭町



### 2-4. 空間的分離が及ぼす水域環境への影響

排水抑制意識の低下に伴う水質汚染  
 ヨシ刈り不足による水域の汚染  
 ヨシ刈りによる環境保全活動  
 琵琶湖・瀬戸内海への影響

1. ヨシ刈りの不足 2. 枯れたヨシのヘドロ化 3. ヘドロによる水質汚染

この現状に警鐘を鳴らし、現在行政主体のヨシ刈りによる保全活動が行われているが、人手が足りず、苗植えに対し刈り取りが十分に保たれていない状況にある。結果、水質は改善されず、汚染された水が内湖の下水に位置する琵琶湖、そして瀬戸内海へと流れ汚染していることで、より大規模な環境問題へと発展していくことになる。

### 伊庭町の基本情報

人口総数	1892 (人)
平均世帯人数	610 (人)
高齢化率	15.43 (%)
人口増加率	-2.32 (%)

手つかずの水域環境

